

# 1年だより

# ぐんぐん

津島市立高台寺小学校 令和2年 たねのまき方号

## お子さまといっしょに 種をまいてください

- \* 5月1日（金）～3日（金）あたりに、種をまいてください。
- \* 学校が再開したら、11日（月）までに学校に持って来てください。ご協力よろしくお願いいたします。

### ☆ 本日、お渡ししたものと

- 鉢
- 鉢皿
- 土
- じょうろの先端
- 種5粒（封筒に入ってます）
- 元肥

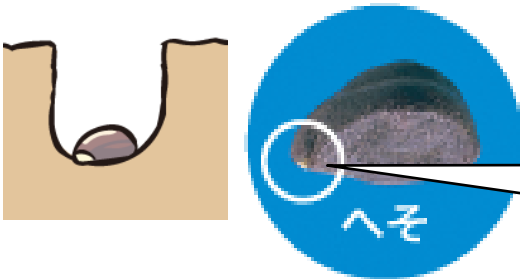
### ☆ 学校で預かっているものと

- 追肥
- 種2粒
- 支柱



### ☆ まき方

- ① 鉢に土を全部入れる。
- ② 図の位置に、お子さまの人差し指を第一関節くらい土に入れて、穴をあける。（深すぎないように、種の大きさ3つ分くらい）
- ③ たねを1粒ずつ穴に入れて、ぞっと土をかぶせる。
- ④ 元肥をまく。
- ⑤ 水をペットボトル1本分かける。（土が動かないように、ゆっくり少しずつ）



種の向きに注意してください！  
「へそ」を下にして種を置かないと、根が土の上に出てしまいます。

### ☆ 水やりについて

- じょうろの先端を、500mlのペットボトルに取り付けます。
  - ・ **丈夫なものをご用意ください。**（押すとすぐにつぶれてしまうものは、水が十分に入りません。）
  - ・ 名前を大きくはっきりと書いてください。
- **土が乾かないように水やりをしてください。** 水は、ペットボトル1本分で十分です。雨の日は、水やりはしません。水が多すぎると、根腐れがおきてしまいます。

（そだてるこよみ）めがでるのによいおんど 20℃～30℃

つぎ	4が	5が	6が	7が	8が	9が
さむいところ						
あたたかいところ						
	たねをまくとき	ふくそたつき	よくそたつき	はながさくとき		

**あさがおの たねの まきかた**

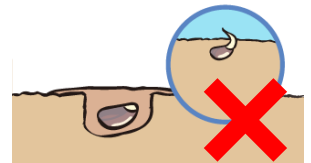
- 1 うえきばちにつちをいれて、たねをまく。  
※このたねはみずにつけないで、たねをまく。そのま ままいてください。
- 2 つちのうえにもとひをまく。  
※ぜんたいにまく。
- 3 じょうろなどで、みずをかける。  
※たねがほりかえれないように、しずかにみずをかける。

① つちをたいらにして、ゆひであなをあける。 ② たねを1つずつあなにのける。 ③ うえからかるくつちをかぶせる。

たねをまきかた

● ついは、つるのひはじめたころに、つちのうえに おいてください。  
※なくさないように たいせつに ほかんしておく。

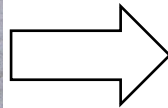
ねん くみ なまえ



☆ 間引き（植え替え）について

○ 本葉が出たら、元気なものを2つ残して間引いてください。

- 苗が込み合っていると生育が悪くなるので、本葉が出始める頃に「間引き（植え替え）」をします。
- 茎が太くて丈夫な苗を残し、ほかは抜きます。間引いた苗も今後の生育不良などに備えて、別の鉢や地面などに植え替えておくのもよいと思います。



まいた種5粒が全て発芽すると、①～⑤まで成長に差があります。丈夫なあさがおを育てるために選別します。

元気な苗①と③の2本残します。

☆ 教材メーカー「はくぶん 役立つ教材知識 あさがおの育て方」も、参考にしてください。

☆ もしうまく育たないときは、学校でお預かりした2粒で育てたものと交換します。ご安心ください。



☆ ペットボトルじょうろの使い方

**みずやりのしかた**

★ **どのように つかうのかな！**

① ペットボトルに みずをいれ、マルチじょうろキャップをしめる。  
 ※ペットボトルを よういする。  
 ちいさい ペットボトル (500mL)

マルチじょうろキャップ  
 ※キャップのネジが あわない ペットボトルもあるので ちゅういする。

② じょうろの さきをしたに むけて、ペットボトルをおす。  
 ※キャップのネジが あわない ペットボトルもあるので ちゅういする。  
 じょうろの先をしっかりと差し込むようにしてください。

★ **みずは 1にちに どれくらいあげると いいのかな！**

★あさがおなどの くさばなには、おおきくなるほど みずをたくさんあげましょう。

みずのりょう ちいさい ペットボトル <b>1ほん</b>	みずのりょう ちいさい ペットボトル <b>2ほん</b>	みずのりょう ちいさい ペットボトル <b>3ほん</b>
たねまきから めが てたあと	つるの のびはじめ	つるが のびたあと

**水分補給のしかた**

●みずをいれたペットボトルじょうろの さきをつちに さしこむ。

●とつきにはめこむ。  
 ※とつきにはめこみにくときや、つちのりょうが へったときは、はめこまなくてもよい。

●ここまですしこむ。  
 つち

●水分補給の水が減る時間は、天候・土の湿り気・栽培期間など、様々な条件で変わります。  
 ●休日中に水分補給をするときは、一度水やりをして土を湿らせてから、じょうろの先をしっかりと差し込むようにしてください。  
 ●じょうろの先は最初に差しした同じ穴に差し込み、穴とのすき間が大きくなるように注意してください。

